

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】

( ①歴史・文化施設 )

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	4	施設名	掛川市竹の丸	担当課名	地域支援課		
	区分	内容・説明					
1	施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市竹の丸条例				
		(2)施設設置目的	市指定有形文化財竹の丸を保存及び活用するとともに、竹の丸の歴史文化的価値を顕彰し、もって市民文化の発展に寄与するため。				
		(3)施設が有する設備、機能の概要	敷地面積:5,520㎡ 主屋(木造平屋建て・457.29㎡)、離れ(木造2階建て・230.52㎡)、番屋(木造平屋建て・34.78㎡)、西土蔵(木造2階建て・61.98㎡)、北土蔵(木造2階建て・99.80㎡)、米倉(木造平屋建て・39.75㎡) ※面積は延床面積。 貸室…【主屋】茶の間(8畳)・ひろま(12畳)・台所(20.5畳)・ギャラリー(39畳)、【離れ】座敷(15畳)・家人の間(7.5畳)				
		(4)施設建設年度	主屋:明治36年(1903年)				
		(5)耐震性能の有無	有				
		(6)将来予想される改修経費	南面土塀修繕、番屋屋根修繕、米倉外壁板修繕、庭園園路修繕				
		(7)指定管理者名	特定非営利活動法人スローライフ掛川				
		(8)指定期間	平成21年6月1日 から 平成26年3月31日 まで				
		(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
		(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(H23年度事業費 438千円)				
		(11)指定事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(H23年度事業費 432千円)				
		(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし				
		(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成23年度)				
	区分	H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
2	施設・設備(と)	(1)施設利用者数	25,290	12,473	10,798		
		施設入館者数	9,412	4,943	4,162		
		貸室利用者数(ギャラリー)	4,009	3,301	4,130		
		貸室利用者数(台所)	2,681	421	519		
		貸室利用者数(ひろま)	2,872	566	454		
		貸室利用者数(茶の間)	1,876	1,174	304		
		貸室利用者数(家人の間)	1,818	441	200		
		貸室利用者数(座敷)	2,622	1,627	1,029		

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	359	881	1,017			
	(3)運営日数	288	347	348	347		
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	3.0	
		②臨時職員	5.0	5.0	5.0	5.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,288,767	9,245,544	9,315,296	9,600,000	
	②印刷費	139,446	157,675	88,200	50,000	
	③通信費	57,446	53,085	48,865	68,000	電話料・郵便料
	④事務用品、旅費、図書費など	570,750	234,347	373,236	231,000	
	⑤借上料	443,450	441,000	330,750	0	利用者駐車場
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	583,930	854,485	827,101	772,852	企画展示費、回線利用料 他
	計	9,083,789	10,986,136	10,983,448	10,721,852	
	対前年度増減率			20.9	△ 0.0	△ 2.4
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,716,477	2,030,598	1,740,438	1,777,398	
	浄化槽管理委託	143,850	143,850	143,850	143,850	
	防犯警備委託	52,627	62,748	62,748	62,748	
	清掃委託	747,000	896,400	697,200	714,000	
	庭園清掃委託	773,000	927,600	836,640	856,800	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	400,000	304,549	343,376	200,000	
	③光熱水費	351,358	440,802	425,006	546,000	電気、ガス、水道
	④燃料費					
	⑤清掃費	84,626	117,165	127,440	84,000	リネン清掃用具費 委託分は上記に記載
	⑥保守点検費	120,750	120,750	120,750	120,750	消防設備保守点検料
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	2,673,211	3,013,864	2,757,010	2,728,148	
	対前年度増減率		12.7	△ 8.5	△ 1.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		11,757,000	14,000,000	13,740,458	13,450,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		77.3	78.5	79.9	79.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		736,270	873,990	887,650		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		8.1	8.0	8.1		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	736,270	873,990	887,650	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	11,757,000	14,000,000	13,740,458	
a)-b)	△ 11,020,730	△ 13,126,010	△ 12,852,808	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	前2年同様、指定事業として竹の丸塾(主として歴史分野)や竹の丸ゼミ(主として文化芸術分野)、葛布展などを実施したほか、能鑑賞会を開催するなど、設置目的に沿った運営が行われた。	メニューを固定することなく、新たな企画、展開により、利用者サービスと設置目的達成度の一層の向上に努める。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	入館者数は減少傾向。貸室利用者数は貸室の内容に左右されるため一概に判断できない面があるが、貸室使用料収入はH21(319,820円)、H22(463,310円)、H23(533,160円)と伸びを見せている。文化活動の場として良好に活用されている。	立地条件や知名度の違いがあるものの、掛川城入館者数と比べ、当施設の入館者数は少ない。広報・宣伝活動及び周辺施設等との連携について、さらに取り組んでいく。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか  ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	管理運営経費は、毎年度減少(H21は10ヶ月間のため月平均で比較)しており、効率を意識した管理運営がされている。	利用料金制の採用については、今後の施設使用料収入の状況(料金設定の見直し含む。)による。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	施設の特性(文化財建造物としての趣)を活かしつつ、無線LANなど新たな施設活用を取り入れるなど施設の魅力向上に努めた管理運営、事業展開がなされた。	文化財を市民に開放し貸室として活用している施設は他に無く、市民の文化活動の場として適当な施設であることと、施設オープンから3年弱(H23年度末)を経過したばかりであることから、現状では他施設との統廃合等は考えていない。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	文化財であることが管理のし難さになる場合がある。	施設の修繕(小修繕を除く。)は、市において計画を立て実施していく。

5 その他自由意見

平成21年度は10ヶ月間。